

危機管理室

一般会計要求総額 998百万円
(対前年度 +419.3%)

【平成31年度 予算要求の経営方針】

危機管理室は、「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本計画）に掲げる「災害などに強いまちづくり」に向けて、本市での災害や、東日本大震災や熊本地震、各地で頻発する豪雨の教訓と支援の経験等を踏まえた「地域防災計画の見直し」や、防災関係機関等と連携した防災訓練を実施するなど、「想定を超える災害でも命を守る防災体制」の強化を図り、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでいきます。

また、全国各地における様々な災害の教訓を踏まえ、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力の向上につながる事業をすすめ、地域防災力の充実強化を図ります。

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

●：新規事業

●想定を超える災害でも命を守る防災対策の充実強化 要求額86百万円(対前年度 +26.4%)

高潮及び河川の浸水想定区域についてのハザードマップを作成し、市民への周知を図るとともに、大規模災害に備えた非常用食糧及び飲料水の備蓄に加え、要配慮者に配慮した物資等を整備する。

また、住民の「自助」意識の醸成や、地域住民が助け合う「共助」による防災対策を推進し、地域防災力の充実強化を図る。

- 高潮及び竹馬川・金山川洪水ハザードマップ作成
- 北九州市国土強靱化地域計画改訂等事業
- みんなde Bousai まちづくり推進事業
- 大規模災害に備えた備蓄整備事業



みんなde Bousai まちづくり推進事業「地区Bousai会議」の様子

●防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化 要求額 11百万円(対前年度 ▲1.5%)

防災関係機関との連携の強化、市民一人ひとりの防災意識の向上や避難行動の普及を図るため、実践的で多様な防災訓練を実施する。

- 市総合防災訓練、区防災訓練

●災害時の情報伝達手段など防災情報の充実強化 要求額 237百万円(対前年度 +362.0%)

災害時はもとより、平常時から様々な防災情報を提供できるよう、効果的な情報伝達手段の充実を図る。

- 防災行政無線高度化事業の拡充
- 福岡県防災・行政情報通信ネットワーク再整備



防災マスコットキャラクター チェックル

●被災地への支援 要求額 46百万円(対前年度 ▲15.1%)

東日本大震災、熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨及び平成30年7月豪雨の被災地への市職員派遣等、被災地のニーズに即した支援活動を行う。

- 被災地復興支援事業

●災害救助基金の創設 要求額 610百万円(前年度なし)

災害救助法の救助実施市の指定を受けるにあたり、大規模災害時の救助費用に充てるため、同法22条において義務付けられている災害救助基金を創設する。

- 災害救助基金積立金

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。